

湧水町立 吉松小学校

1 学習のねらい

森林・林業の重要性と地域林業が果たす役割についての学習と体験活動を通じ、森林の持つ公益的機能や生物多様性のほか森林資源の循環利用、地域林業や森林の意義について理解を深める。

2 学習の位置づけ

総合的な学習の時間、社会

3 森林学習・体験活動の種別

①しいたけ駒打ち ②森林学習、植樹 ③木工教室

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和3年12月17日(金)	8:40~12:10	校庭	1~4年生	52	5	57
②	令和4年2月22日(火)	9:00~12:10	校外森林	5年生	20	2	22
③	令和4年2月24日(木)	8:40~12:10	体育館	6	14	2	16
合 計 (延べ人数)					86	9	95

5 学習の進め方(スケジュール)

	学習の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	森の恵みである原木しいたけについて学習し、駒打ちの体験を行う。	ドリルの取扱について注意喚起	振興局 5
②	ヒガンザクラ南限自生地での生物多様性の学習及び苗木の植栽体験を通じて、林業の作業内容や木材の循環利用等について学習する。	感染対策の徹底、移動時足下注意	振興局 1 森林・林業教育指導員 1
③	県産木材を利用した、「ベンチ」づくりによる木とのふれあいを通じて、木工工作の楽しさと木のぬくもりについて学習する。	感染対策の徹底、電動工具や刃物の取扱について注意喚起	振興局 2

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	原木、種駒、ドリル、ドリルきり、金槌、コードリール、種駒容器、寒冷紗、ネットクリップ、クレモナロープ、防草シート、シートピン、ブルーシート、チョーク、資料、拡声器	マスク
②	山鋏、軍手、ヘルメット、拡声器、インカム、資料、消毒液、救急箱	筆記用具、水筒、雨具(傘、雨合羽、雨靴)、マスク
③	材料(スギ材)、のこぎり、さしがね、メジャー、インパクトドライバー、ドリル刃、電動サンダ、紙やすり(#120)、ステンコースレット(65, 75, 90mm)、紙皿(釘入れ)、鉛筆、ルーター、コードリール及び延長コード、防腐剤、刷毛、薄め液、塗料入れ、設計図面、ポスカ、ブルーシート、軍手	作業台(椅子)、マスク

7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

- ・感染症の状況を考慮しながら、極力実施の方向で学校側と日程及び対策の調整を行った。
- ・コロナ禍の中で充実した体験活動を行うことができ、児童にとって大変貴重な体験となった。

7 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【①しいたけについての学習】



【①駒打ち体験活動】



【②ヒガンザクラ南限自生地の学習】



【②樹木観察】



【②植樹体験】



【②植樹体験】



【③木製ベンチ製作】



【③木製ベンチ製作】